

平成29年度

省エネルギー設備の導入・運用改善による 中小企業等の生産性革命促進事業

省エネ診断 実施計画書～完了報告書の手引き

平成30年9月

本手引きは、「平成29年度 省エネルギー設備の導入・運用改善による中小企業等の生産性革命促進事業」における省エネ診断に係る各種書類の提出方法・記入例について説明しています。

目次

はじめに	P.2
省エネ診断の書類提出について	P.3
1.省エネ診断実施計画書	P.4
1-1 省エネ診断実施計画書	P.5
1-2 省エネ診断実施計画書の作成方法	P.6
2.省エネ診断結果の報告書	P.14
2-1 省エネ診断結果の報告書	P.15
2-2 記入例	P.16
3.省エネ診断実績報告書	P.22
3-1 省エネ診断実績報告書	P.23
4.省エネ診断完了報告書／精算払請求書	P.26
4-1 省エネ診断完了報告書	P.27
4-1 記入例	P.28
4-2 精算払請求書	P.30
4-2 記入例	P.31
4-3 書類の提出/提出先	P.33

はじめに

本手引きの目的、提出書類について説明します。

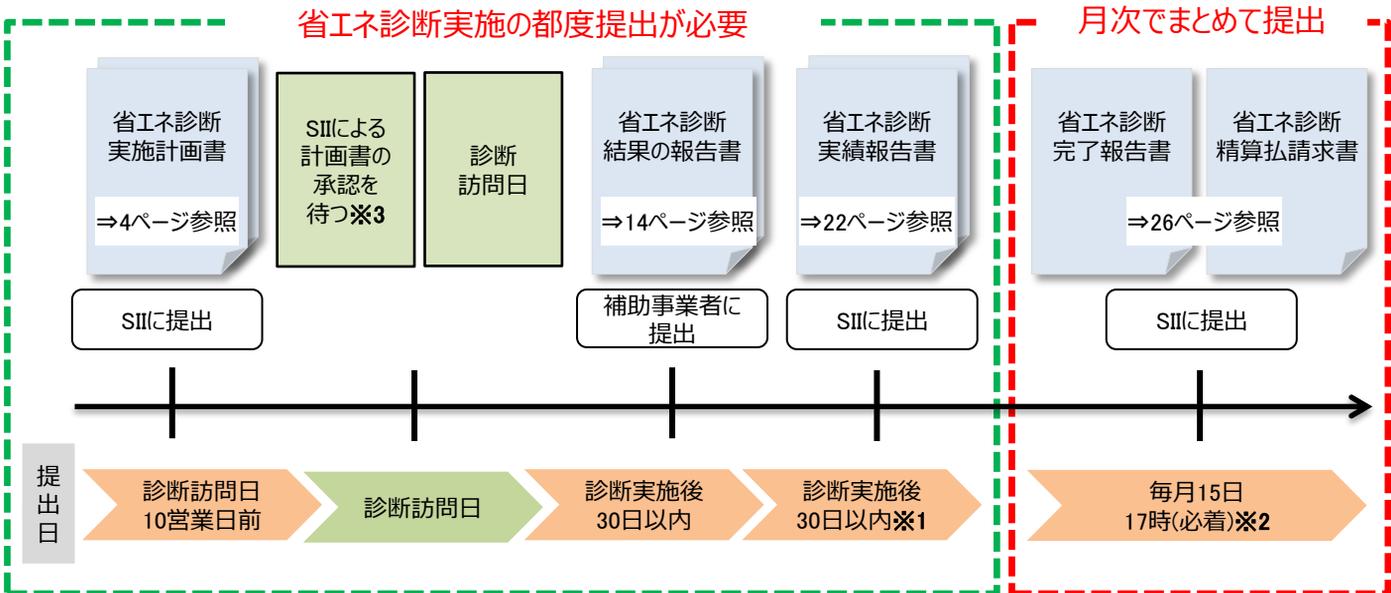
省エネ診断の書類提出について

本手引きについて

平成29年度 省エネルギー設備の導入・運用改善による中小企業等の生産性革命促進事業において、省エネ診断実施機関の事務手続きや留意事項等について記載しています。
省エネ診断を実施する際に不明な点がある場合には、必ず一般社団法人環境共創イニシアチブ(以下、SIIという)へご相談ください。

書類提出の流れ

省エネ診断の実施に際し、事前に提出する書類および省エネ診断実施後に提出する書類の流れは以下の通りです。



※1 現地説明を行わない場合 ⇒診断後30日以内または平成31年2月14日(木)17時(必着)のいずれか早い日
現地説明を行う場合 ⇒診断後40日以内または平成31年2月14日(木)17時(必着)のいずれか早い日

※2 毎月15日 17時(必着)までに提出。(土日祝日の場合は前営業日までに提出)
最終提出期限は平成31年2月14日(木)17時(必着)

※3 SIIが承認するまで、旅券等の手配を行わないようにしてください

実施計画

結果の報告

実績報告

完了報告

1. 省エネ診断実施計画書

省エネ診断実施前に提出が必要な
実施計画書について説明します。

診断毎に
提出

1-1 省エネ診断実施計画書

省エネ診断実施計画書

診断日程の調整が完了したのち、SIIへ提出する省エネ診断実施計画書のフォーマットについて記載しています。提出方法については以下の通りです。

フェーズ	提出先	提出書類名	ファイル形式	提出方法	提出期限
実施計画	SII	省エネ診断実施計画書	Excel	省エネ診断報告ポータル	診断訪問日 10営業日前まで

※ 後日、省エネ診断報告ポータルを開設する予定です。
開設の案内があるまではお手数ですが、**メール**でSII(shoene-shindan@sii.or.jp)まで提出してください。

フォーマット

省エネ診断実施機関向けWEB(https://sii.or.jp/kakumeisokushin29r/information_ins.html)より必要書類をダウンロードのうえ、ご使用ください。

※平成30年9月27日（木）に更新版をアップロードしています。

省エネ診断の実施に係る資料

- 省エネ診断事務取扱説明書 (1.0MB) ※画像はイメージです
- 省エネ診断実施計画書／診断費用計算書 (165KB)**
- 証憑書類台紙 (91KB)

省エネ診断実施計画書・診断費用計算書ファイルについて以下の通り、用途が分かれていますのでご注意ください。

省エネ診断実施計画書

提出日

1. 省エネ診断実施機関情報

診断機関コード	SS	
診断機関名		
管理責任者	専門家ID	
	セイ	メイ
	姓	名

「省エネ診断実施計画書」であることを確認してください

プルダウンで選択してください



複数の省エネ診断を1回の出張にまとめて計画した場合、関連する全ての省エネ診断実施計画書を提出してください。※7ページ以降参照

1-2 省エネ診断実施計画書の作成方法

省エネ診断実施計画書を作成する際は、フォーマットの記入例を必ず確認してください。

省エネ診断実施計画書のプルダウン選択項目

省エネ診断実施計画書のフォーマットは、プルダウンの選択内容に応じて入力不要となる項目をグレーアウトするように設定しています。プルダウン箇所は以下の4項目となります。

省エネ診断実施計画書

1. 省エネ診断実施機関情報

診断機関コード	KS		
診断機関名			
管理責任者	専門家ID	-	
	セイ		メイ
	姓		名
診断パターン	専門家人数		
	現地説明の有無		

2. 診断先事業者情報

申請書番号	KS-		
補助事業者名			
事業所住所	都道府県	市区町村	丁目・番地
事業完了予定日			

3. 専門家情報

専門家①	専門家ID		
	セイ		メイ
	姓		名
	宿泊の有無		
	連続訪問の有無		
	別診断①(申請書番号)	KS-	事業者名
	別診断②(申請書番号)	KS-	事業者名
	専門家ID		
	セイ		メイ

➔ ① 診断に従事する専門家の人数を選択します。1人を選択した場合、専門家②に関連する項目のすべてがグレーアウトされます。

➔ ② 現地説明の有無を選択します。無を選択した場合、現地説明に関連する項目のすべてがグレーアウトされます。

➔ ③ 宿泊の有無を選択します。宿泊パターンに応じて、以降の不要な項目はグレーアウトされます。

➔ ④ 専門家毎に連続訪問（※）の有無を選択します。連続訪問を行わない場合には、「別訪問①、別訪問②」の項目がグレーアウトされます。※連続訪問の考え方は後述7ページを参照してください。



入力したいセルがグレーに表示されている場合は、そのまま入力せずにプルダウンの選択内容を変更してから入力してください。

入力する上での留意事項

省エネ診断実施計画書の入力項目の中で、留意すべき項目をまとめていますのでご確認ください。

項目	留意事項
提出日	年度違い等の間違いがなく、SIIIに提出（送信）した日付を記入をしているか
診断訪問日	事業完了日以降の日付となっているか
診断結果の報告書提出日	診断訪問日から30日以内の日付となっているか (現地説明を行う場合) 診断訪問日から40日以内の日付となっているか
現地説明日	診断訪問日から40日以内の日付となっているか
出発基点	旅程の出発場所と一致しているか（連続訪問を除く）
帰着先	旅程の最終到着先と一致しているか（連続訪問を除く）
後泊の有無	当日中に帰着先まで移動できないのか ※移動できるにもかかわらず後泊を選択している場合は、修正を依頼する場合があります
日当の有無	正しい日当額が選択されているか ※出発基点から診断先事業所までの移動距離が100Km未満の場合は日当は発生しません

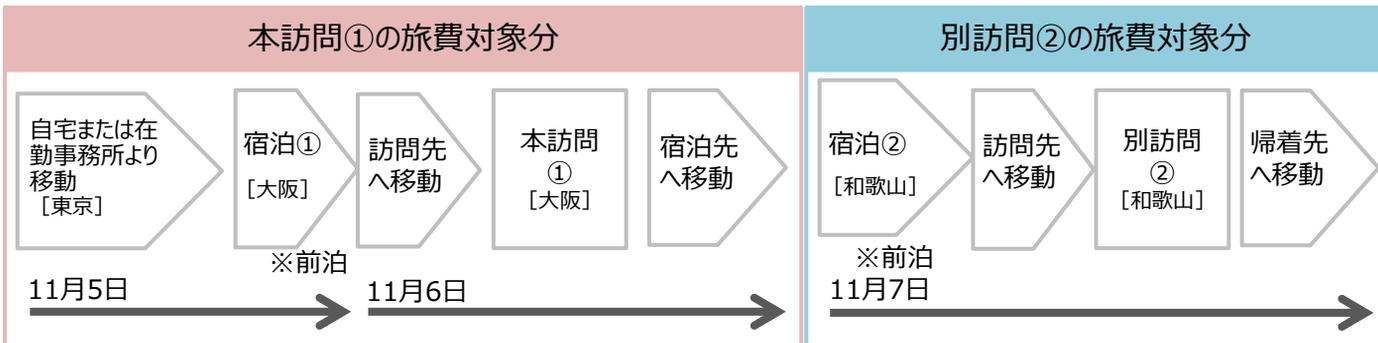
1-2 省エネ診断実施計画書の作成方法

連続訪問の考え方

訪問する診断先が宿泊規程に該当する距離に位置し、一回の旅程で診断や現地説明を複数回行う場合について説明します。

A：連続した日程で省エネ診断または現地説明を実施する場合

<例> 出発・帰着地：東京 本訪問①11月6日大阪 別訪問②11月7日和歌山



【交通費】

訪問①の省エネ診断実施計画書には、出発以降訪問②の前泊先までかかる交通費を記入します。
訪問②の省エネ診断実施計画書には、宿泊先以降、帰着先まで移動する交通費を記入します。
宿泊は訪問①、訪問②それぞれの前泊として扱います。

【日当】（以下の通り選択します）

訪問①の日当

専門家①	区分	下記のブルダウンから選択	日当
省エネ太郎	前泊	1.移動のみ(前泊・後泊)	¥1,500
	診断日	6.前泊し、当日終日診断を実施	¥3,000
	後泊		

訪問②の日当

専門家①	日付	下記のブルダウンから選択	日当
省エネ太郎	前泊	13.(連続訪問有の場合)移動日のため日当なし	¥0
	診断日	6.前泊し、当日終日診断を実施	¥3,000
	後泊		



日当は1日最大¥3,000です。訪問同日内に連続訪問の前泊の目的で移動する場合、日当は発生しません。重複しないようご注意ください。

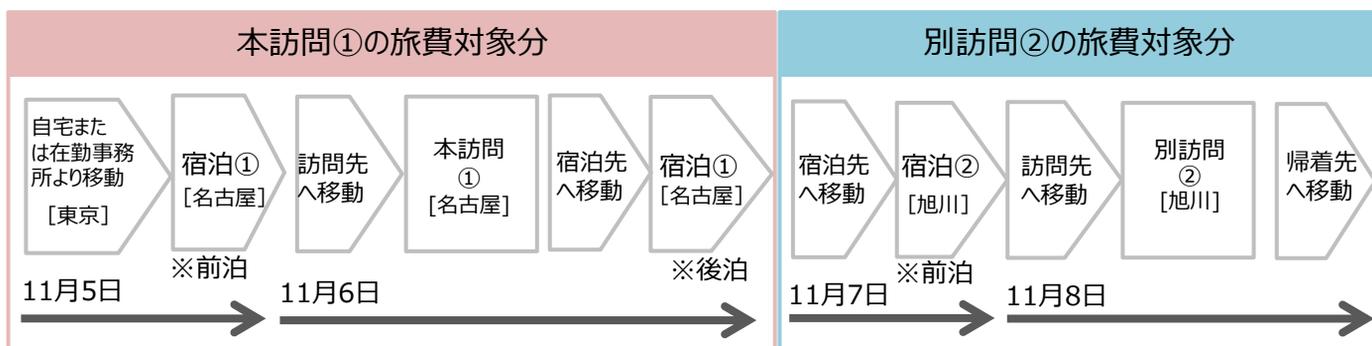
留意事項

- ・ 訪問①②いずれも、専門家の**在勤事務所**を基点に考え、宿泊の規程に該当するか
- ・ 立地、当該訪問のスケジュールより合理的、経済的な旅程となっているか

1-2 省エネ診断実施計画書の作成方法

B：1日以上の日程を空けて省エネ診断または現地説明を実施する場合】

＜例＞ 出発・帰着地：東京 訪問①11月6日名古屋 訪問②11月8日旭川



【交通費】

訪問①の省エネ診断実施計画書には、出発以降訪問①の後泊先までにかかる交通費と宿泊費を記入します。

訪問②の省エネ診断実施計画書には、訪問①の後泊先以降より訪問②へ移動し、診断終了後帰着先にかかる交通費を記入します。（宿泊は訪問①で前後泊、訪問②の前泊として扱います。）

【日当】（以下の通り選択します）

訪問①の日当

専門家①	区分	下記のプルダウンから選択	日当
省エネ太郎	前泊	1.移動のみ(前泊・後泊)	¥1,500
	診断日	6.前泊し、当日終日診断を実施	¥3,000
	後泊	0.日当なし	¥0

訪問②の日当

専門家①	日付	下記のプルダウンから選択	日当
省エネ太郎	前泊	1.移動のみ(前泊・後泊)	¥1,500
	診断日	6.前泊し、当日終日診断を実施	¥3,000
	後泊		

留意事項

- ・ 訪問①②いずれも、専門家の在勤事務所を基点に考え、宿泊の規程に該当するか
- ・ 訪問①終了後、公共交通機関が終了しているなど、帰着先までの移動が困難であること
- ・ 立地、当該訪問のスケジュールを考慮した際に合理的、経済的な旅程となっているか



複数の省エネ診断を1回の出張にまとめて計画した場合、関連する全ての省エネ診断実施計画書を提出してください。

1-2 省エネ診断実施計画書の作成方法

診断を横断した旅程調整と旅券の手配

個別の診断先の往復経路を考える際に、道理的かつ経済的な経路を考えるだけでなく、連続訪問を行う場合は、複数の診断先を訪問する合理的かつ経済的な旅程となるよう考慮し、調整および旅券の手配をしてください。

<例> 東京を在勤事務所として、大阪、福岡の診断先を連続訪問する場合



東京～新大阪～博多という旅程の場合、JR窓口で購入する正規の乗車券であれば、新大阪は途中下車が可能です。この場合「東京（東京都区内）→博多（福岡市内）」の**乗車券**、「東京→新大阪」の**特急券**、「新大阪→博多」の**特急券**を手配し、経済的な出張経費を心がけてください。

連続訪問の記載方法

以下に連続訪問の記入例を記載しています。

※連続訪問の該当箇所のみを記載しております。

※[6. 現地説明を行う場合の旅費等]も同様に記載をお願い致します。

<例> 出発・帰着地：東京 訪問①11月6日大阪 訪問②11月7日和歌山

【宿泊の有無/連続訪問の有無/別訪問の記載方法】

以下、[省エネ診断実施計画書 3. 専門家情報]を参照ください。

実施計画書 KS-2018010101010 (本訪問)

専門家②	専門家ID	00 - 0002		
	セイ	シダシ	メイ	ジロウ
	姓	診断	名	次郎
	宿泊の有無	前泊→診断		
	連続訪問の有無	有:本訪問→別訪問		
	別訪問①(申請書番号)	KS- 2018010101012	事業者名	株式会社省エネ診断
別訪問②(申請書番号)	KS-	事業者名		

実施計画書 KS-2018010101012 (別訪問)

専門家②	専門家ID	00 - 0002		
	セイ	シダシ	メイ	ジロウ
	姓	診断	名	次郎
	宿泊の有無	前泊→診断		
	連続訪問の有無	有:別訪問→本訪問		
	別訪問①(申請書番号)	KS- 2018010101010	事業者名	株式会社△△
別訪問②(申請書番号)	KS-	事業者名		

※必ず別訪問の申請番号を入力

1-2 省エネ診断実施計画書の作成方法

【出発基点/帰着先の記載方法】

以下、[省エネ診断実施計画書 3. 専門家情報]を参照ください。

実施計画書 KS-2018010101010 (本訪問)

実施計画書 KS-2018010101012 (別訪問)

出発基点および帰着先の確認

専門家②	出発基点	都道府県	東京都
		路線名	JR
		駅(バス停)	東京
	帰着先	都道府県	和歌山県
		路線名	JR
		駅(バス停)	和歌山

出発基点および帰着先の確認

専門家②	出発基点	都道府県	和歌山県
		路線名	JR
		駅(バス停)	和歌山
	帰着先	都道府県	東京都
		路線名	JR
		駅(バス停)	東京

本訪問の帰着先は、別訪問の出発基点を記入

【旅程/宿泊先情報の記載方法】

以下、[省エネ診断実施計画書 5. 旅程および旅費計算]を参照ください。

実施計画書 KS-2018010101010 (本訪問)

①前泊する場合の宿泊先までの旅程

日程	専門家②	移動実績				証拠書類	旅費	
		移動区間	交通手段	開始(出発)	終了(到着)		税込	税別
11/5	診断次郎	東京 ~ 新大阪	新幹線	18:00	20:33		¥13,500	
		新大阪 ~ 大阪	在来線	20:39	20:43		¥0	
		~						
		~						
		~						
		~						
		~						
移動費用小計							¥13,500	
宿泊先情報		宿泊先名	宿泊先住所	証拠	宿泊費			
		ビジネスIN大阪	大阪府大阪市〇〇		¥11,000			

①前泊する場合の宿泊先までの旅程

本訪問の宿泊先までの旅程/宿泊先情報を入力

②診断当日の診断先事業所までの旅程

日程	専門家②	移動実績				証拠書類	旅費	
		移動区間	交通手段	開始(出発)	終了(到着)		税込	税別
11/6	診断次郎	大阪 ~ 西九条	在来線	13:03	13:09		¥160	
		~						
		~						
		~						
		~						
		~						
		~						
移動費用小計							¥160	

②診断当日の診断先事業所までの旅程

本訪問の診断当日の診断先事業所までの旅程を入力

③後泊する場合の診断先事業所から宿泊先までの旅程

日程	専門家②	移動実績				証拠書類	旅費	
		移動区間	交通手段	開始(出発)	終了(到着)		税込	税別
		~						
		~						
		~						
		~						
		~						
		~						
		~						
移動費用小計							¥0	
宿泊先情報		宿泊先名	宿泊先住所	証拠	宿泊費			

③後泊する場合の診断先事業所から宿泊先までの旅程

※記入不要

④帰着先までの旅程

日程	専門家②	移動実績				証拠書類	旅費	
		移動区間	交通手段	開始(出発)	終了(到着)		税込	税別
11/6	診断次郎	西九条 ~ 和歌山	在来線	18:30	20:03		¥1,080	
		~						
		~						
		~						
		~						
		~						
		~						
移動費用小計							¥1,080	

④帰着先までの旅程

※別訪問を実施する場合は、別訪問を行う診断先事業所、宿泊先への旅程を入力してください。

1-2 省エネ診断実施計画書の作成方法

旅程の記載方法 様々なパターン

【旅程/宿泊先情報の記載方法】

以下、[省エネ診断実施計画書 5. 旅程および旅費計算]を参照ください。

[実施計画書 KS-2018010101012 \(別訪問\)](#)

①前泊する場合の宿泊先までの旅程

日程	専門家②	移動実績				証拠書類	旅費 税込
		移動区間	交通手段	開始(出発)	終了(到着)		
11/6	診断次郎	～					
		～					
		～					
		～					
		～					
		～					
		～					
移動費用小計							¥0
宿泊先情報		宿泊先名	宿泊先住所	証拠	宿泊費		
		ビジネスIN和歌山	和歌山県和歌山市〇〇		¥11,000		

①前泊する場合の宿泊先までの旅程

※宿泊先情報のみを入力

②診断当日の診断先事業所までの旅程

日程	専門家②	移動実績				証拠書類	旅費 税込
		移動区間	交通手段	開始(出発)	終了(到着)		
11/7	診断次郎	和歌山 ～ 紀三井寺	在来線	8:40	8:46		¥190
		～					
		～					
		～					
		～					
		～					
		～					
移動費用小計							¥190

②診断当日の診断先事業所までの旅程を入力

③後泊する場合の診断先事業所から宿泊先までの旅程

日程	専門家②	移動実績				証拠書類	旅費 税込
		移動区間	交通手段	開始(出発)	終了(到着)		
		～					
		～					
		～					
		～					
		～					
		～					
		～					
移動費用小計							¥0
宿泊先情報		宿泊先名	宿泊先住所	証拠	宿泊費		

③後泊する場合の診断先事業所から宿泊先までの旅程

※記入不要

④帰着先までの旅程

日程	専門家②	移動実績				証拠書類	旅費 税込
		移動区間	交通手段	開始(出発)	終了(到着)		
11/7	診断次郎	紀三井寺 ～ 和歌山	在来線	16:00	16:07		¥190
		和歌山 ～ 大阪	在来線	16:27	17:58		¥1,240
		大阪 ～ 新大阪	在来線	18:10	18:14		¥0
		新大阪 ～ 東京	新幹線	18:20	20:53		¥13,500
		～					
		～					
		～					
移動費用小計							¥14,930

④帰着先までの旅程

帰着先までの旅程を入力

1-2 省エネ診断実施計画書の作成方法

省エネ診断実施計画に変更が発生した場合

[省エネ診断実施計画を変更するタイミングと想定される事由]

省エネ診断実施計画を変更するタイミングと想定される事由を記載しています。

尚、以下の事由が生じた場合は速やかにSIIにご相談ください。

No.	変更のタイミング	想定される事由	対応方法
1	省エネ診断実施前	<ul style="list-style-type: none"> 診断実施予定日の変更 ↳例)補助事業者の都合で予定日の診断が困難になった 専門家情報（管理責任者、現地説明者含む）の変更 ↳例)診断予定の専門家が退職した 大幅な移動区間の変更（公共交通機関事由） ↳例)災害で新幹線/飛行機が利用できない等 省エネ診断実施機関情報の変更 ↳例)社名、住所、連絡先等 	S I I が承認した場合、 省エネ診断実施計画書を提出
		<ul style="list-style-type: none"> 事前調整のタイミングで、補助事業者が補助事業の取りやめ（補助事業廃止）を行なう場合 	S I I に報告し、 その指示に従ってください
2	省エネ診断実施日	<ul style="list-style-type: none"> 移動中に不都合な事態が生じた ↳例)天災等により、迂回ルートを利用した 補助事業者都合により診断実施が中止となった ↳例)補助事業者側のエネルギー担当者が不在だった 	S I I に報告し、 その指示に従ってください

※各種変更手続きにおいては、S I I に相談いただく必要があります。

事前連絡なく書類のみ送付いただいても変更は認められませんので、注意してください。

実施計画

結果の報告

実績報告

完了報告

2.省エネ診断結果の報告書

省エネ診断実施後に補助事業者へ提出が必要な
結果の報告書について説明します。

診断毎に
提出

2-1 省エネ診断結果の報告書

省エネ診断結果の報告書

診断実施後、補助事業者へ提出する省エネ診断結果の報告書フォーマットについて記載しています。提出方法については以下の通りです。

フェーズ	提出先	提出書類名	ファイル形式	提出方法	提出期限
省エネ診断結果の報告	補助事業者 ※	省エネ診断結果の報告書	自由	メール or 郵送	診断実施後 30日以内

※ 別途、SIIにも提出してください。詳細は「[3.省エネ診断実績報告書](#)」をご参照ください。

フォーマット

診断結果の報告書フォーマットは原則、貴社で通常使用している報告書をご使用ください。報告書に必須な構成要素が、通常使用の報告書にない場合は追加して作成してください。構成要素については、以下の通りです。

大項目	中項目
表紙 ※1	必須
I.省エネ診断結果総括	(1) 総括 必須
	(2) 現状について
	(3) 提案
II.現状	(1) エネルギー管理状況チェック表
	(2) エネルギー使用状況 必須
	(3) 年間エネルギー使用量 必須
	(4) 月別エネルギー使用量 ※2
	(5) 月別電力使用量 ※2
	(6) 時刻別電力使用量 ※2
III.改善提案	(1) 改善提案 必須
	(2) 提案内容 ※3

※1 表紙はSII指定書式です。
省エネ診断実施機関向けWEB(https://sii.or.jp/kakumeisokushin29r/information_ins.html)に公開しました。

※2 グラフを用いて作成してください。

※3 運用改善を含む提案を5つ以上作成してください。

留意事項

- ・ 必須項目が含まれていることを確認してください。
- ・ グラフを用いた箇所を、必ず報告書に組み込んでください。
- ・ 数値的根拠に基づいた文章で記載してください。

次ページ以降にサンプルを記載しています。

2-2 記入例

平成29年度
省エネルギー設備の導入・運用改善による
中小企業等の生産性革命促進事業

必須
(指定書式)

株式会社〇〇工業 様

省エネ診断結果の報告書

平成30年11月10日

半角数字13桁であること

受診事業者	事業者名	株式会社〇〇工業		補助事業の申請書番号	KS- ●●●●●●●●●●●●●	
	事業実施場所名	本社第2工場				
	事業実施場所所在地	神奈川県〇〇市〇〇町1-2-3				
省エネ診断	実施機関名称	〇〇会社〇〇エネルギーマネジメント		機関コード	SS ●●●●	
	管理責任者 専門家ID	●● - ●●●●●		フリガナ	●● ●●	
				氏名	●● ●●	
	専門家① 専門家ID	●● - ●●●●●		フリガナ	●● ●●	
				氏名	●● ●●	
	専門家② 専門家ID	●● - ●●●●●		フリガナ	●● ●●	
				氏名	●● ●●	
診断訪問日	平成 30年 10月 25日		実施時間	9:00 ~ 17:00		

研修会およびe-ラーニング受講の際に使用した専門家IDが入力されていること

現地説明を行う場合のみ以下記入してください

現地説明	現地説明者 専門家ID	●● - ●●●●●		フリガナ	●● ●●	
				氏名	●● ●●	
現地説明日	平成 30年 11月 22日		実施時間	10:00 ~ 12:00		

実施計画

結果の報告

実績報告

完了報告

3.省エネ診断実績報告書

省エネ診断実施後にSIIへ提出が必要な
実績報告書について説明します。

診断毎に
提出

3-1 省エネ診断実績報告書

省エネ診断実績報告書

補助事業者へ診断結果の報告書を提出したのち、SIIへ提出する省エネ診断実績報告書の内容について記載しています。提出方法については以下の通りです。

フェーズ	提出先	提出書類名	ファイル形式	提出方法	提出期限
省エネ診断実績報告	SII	証憑書類	Excel	省エネ診断報告ポータル ※	【現地説明を行わない場合】 診断訪問日から30日以内又は平成31年2月14日(木)(17時必着)のいずれか早い日まで 【現地説明を行う場合】 診断訪問日から40日以内又は平成31年2月14日(木)(17時必着)のいずれか早い日まで
		診断費用計算書	Excel		
		省エネ診断結果の報告書	自由		

※ 後日、省エネ診断報告用ポータルを開設する予定です。
 開設の案内があるまではお手数ですが、メールでSII(shoene-shindan@sii.or.jp)まで提出をお願いします。

フォーマット

省エネ診断実施機関向けWEB(https://sii.or.jp/kakumeisokushin29r/information_ins.html)より必要書類をダウンロードのうえ、ご使用ください。
 診断結果の報告書については補助事業者へ提出したものと同一のものを提出してください。
 詳細は「[2.省エネ診断結果の報告書](#)」をご参照ください。

省エネ診断の実施に係る資料

- [省エネ診断事務取扱説明書 \(1.0MB\)](#) ※画像はイメージです
- [省エネ診断実施計画書／診断費用計算書 \(165KB\)](#)
- [証憑書類台紙 \(91KB\)](#)

※省エネ診断実施計画書／診断費用計算書ファイルについて以下の通り、用途が分かれていますのでご注意ください。

診断費用計算書

1. 省エネ診断実施機関情報		提出日
診断機関コード	SS	
診断機関名		
管理責任者	専門家ID	
	セイ	メイ
	姓	名

「診断費用計算書」であることを確認してください。

プルダウンで選択してください。

複数の省エネ診断を1回の出張にまとめて実施した場合、関連する全ての診断費用計算書を提出してください。

3-1 省エネ診断実績報告書

証憑書類の用意

旅費等に係る証憑書類を個人別かつ時系列で整理し、診断費用計算書および証憑書類台紙の作成準備をしてください。在来線や路線バスなど、一般的に領収書の発行がない公共交通機関は、対象経路のルート検索画面を印刷したものを証憑書類とします。なお、領収書等の証憑書類は写しで構いません。

※日付、内容など必要事項が記載された領収書を必ず添付してください。

原則、診断する事業所毎（申請書毎 = K S 番号毎）に証憑書類を取得してください。取得した証憑書類が宿泊費等とまとめられた内容となっており、記載された金額について総額でしか確認できない等やむを得ない場合は、それぞれの旅費や旅程の内訳が明確に記載された領収書の内訳書（明細）を発行元から取得し、併せて提出してください。

診断費用計算書の作成

手元に用意した証憑書類を確認し、省エネ診断実施計画書で事前に記入した時刻や金額等に差異が生じている場合は、その箇所を忘れずに更新してください。

省エネ診断実施計画書							
						提出日 平成30年10月1日	
1. 省エネ診断実施機関情報							
診断機関コード	SS	1000	一般社団法人環境診断センター				
診断機関名	一般社団法人環境診断センター						
管理責任者	専門家ID	00 - 0001					
セイ	シヨエネ	メイ	タロウ				
姓	省エネ	名	太郎				
診断パターン	専門家人数	2人					
	現地説明の有無	有					
2. 診断先事業者情報							
申請書番号	KS - 20180101010						
補助事業者名	一般社団法人環境共創イニシアティブ						
事業所住所	都道府県	東京都	市区町村	中央区	丁目・番地	銀座2-16-7	
事業完了日	平成30年10月1日						
日程	専門家①	移動実績		証憑書類	旅費		
		移動区間	交通手段	開始(出発)	終了(到着)	税込	
10/19	診断次郎	大阪 ~ 新大阪	在来線	16:40	16:44	¥14,550	
		新大阪 ~ 東京	新幹線	16:56	19:30	¥0	
		~	~	~	~	~	~
		~	~	~	~	~	~
		~	~	~	~	~	~
		~	~	~	~	~	~
		~	~	~	~	~	~
移動費用小計						¥14,550	
宿泊先情報							
宿泊先名		宿泊先住所		宿泊費			
ヒュニアデブホテル		東京都中央区八重洲1-1-10		¥15,000			
②診断当日の出発拠点から診断先事業所までの旅程							
日程	専門家①	移動実績		証憑書類	旅費		
		移動区間	交通手段	開始(出発)	終了(到着)	税込	
10/20	省エネ太郎	品川 ~ 有馬町	在来線	9:11	9:21	¥154	
		目黒町 ~ 新倉町	在来線	9:26	9:29	¥165	
		~	~	~	~	~	
移動費用小計						¥319	
日程	専門家②	移動実績		証憑書類	旅費		
		移動区間	交通手段	開始(出発)	終了(到着)	税込	
10/20	診断次郎	品川 ~ 有馬町	在来線	9:18	9:20	¥133	
		目黒町 ~ 新倉町	在来線	9:26	9:29	¥165	
		~	~	~	~	~	
移動費用小計						¥298	

診断費用計算書							
						提出日 平成30年11月1日	
1. 省エネ診断実施機関情報							
診断機関コード	SS	1000	一般社団法人環境診断センター				
診断機関名	一般社団法人環境診断センター						
管理責任者	専門家ID	00 - 0001					
セイ	シヨエネ	メイ	タロウ				
姓	省エネ	名	太郎				
診断パターン	専門家人数	2人					
	現地説明の有無	有					
2. 診断先事業者情報							
申請書番号	KS - 20180101010						
補助事業者名	一般社団法人環境共創イニシアティブ						
事業所住所	都道府県	東京都	市区町村	中央区	丁目・番地	銀座2-16-7	
事業完了日	平成30年10月1日						
日程	専門家①	移動実績		証憑書類	旅費		
		移動区間	交通手段	開始(出発)	終了(到着)	税込	
10/19	診断次郎	大阪 ~ 新大阪	在来線	16:40	16:44	¥14,550	
		新大阪 ~ 東京	新幹線	16:56	19:30	¥0	
		~	~	~	~	~	~
		~	~	~	~	~	~
		~	~	~	~	~	~
		~	~	~	~	~	~
		~	~	~	~	~	~
移動費用小計						¥14,550	
宿泊先情報							
宿泊先名		宿泊先住所		宿泊費			
ヒュニアデブ駅前ホテル		東京都中央区八重洲1-1-15		¥9,000			
②診断当日の出発拠点から診断先事業所までの旅程							
日程	専門家①	移動実績		証憑書類	旅費		
		移動区間	交通手段	開始(出発)	終了(到着)	税込	
10/20	省エネ太郎	品川 ~ 有馬町	在来線	9:11	9:21	¥154	
		目黒町 ~ 新倉町	在来線	9:26	9:29	¥165	
		~	~	~	~	~	
移動費用小計						¥319	
日程	専門家②	移動実績		証憑書類	旅費		
		移動区間	交通手段	開始(出発)	終了(到着)	税込	
10/20	診断次郎	品川 ~ 有馬町	在来線	9:18	9:20	¥133	
		目黒町 ~ 新倉町	在来線	9:26	9:29	¥165	
		~	~	~	~	~	
移動費用小計						¥298	

3-1 省エネ診断実績報告書

証憑書類台紙の注意点

内訳金額の確認が出来ない証憑書類では、お支払が出来ない場合がありますので、以下の例をご確認ください。

【良い例】新幹線+宿泊先それぞれの内訳金額が明確

【省エネ診断】証憑書類台紙		
診断機関コード	SS 10XX	No. 1
診断機関名	東京省エネ〇〇センター	
補助事業者名	大阪〇〇株式会社	
申請書番号	KS-2018XXXXXXXXXX	

証憑書類① セットプラン領収書 30000円	証憑書類② 新幹線（往路） 東京-新大阪 9500円
証憑書類③ 新幹線（復路） 新大阪-東京 9500円	証憑書類④ 新大阪〇〇ホテル 宿泊証明書 11000円

新幹線の往復、及び宿泊金額の内訳が証憑書類から確認出来るため、支払可能。

【悪い例】新幹線+宿泊先のセットプランで購入した場合（内訳が不明）

【省エネ診断】証憑書類台紙		
診断機関コード	SS 10XX	No. 1
診断機関名	東京省エネ〇〇センター	
補助事業者名	大阪〇〇株式会社	
申請書番号	KS-2018XXXXXXXXXX	

証憑書類① セットプラン領収書 30000円	証憑書類② 新幹線（往路） 東京-新大阪
証憑書類③ 新幹線（復路） 新大阪-東京	証憑書類④ 新大阪〇〇ホテル 宿泊証明書

交通費、宿泊費ともに金額の記載がなく、内訳不明

セットプランで購入したため、新幹線の往復、及び宿泊金額の内訳が不明瞭なため、支払が出来ません。

※証憑書類から内訳の確認が出来ることを確認の上、提出してください。

実施計画

結果の報告

実績報告

完了報告

4.省エネ診断完了報告書／精算払請求書

省エネ診断実施後にSIIへ提出が必要な完了報告書および精算払請求書について説明します。

毎月15日までに
郵送

4-1 省エネ診断完了報告書

省エネ診断完了報告書

毎月15日までにSIIに提出した実績報告書をまとめ、省エネ診断が何件完了したのかを報告するためのフォーマットについて記載しています。提出書類については以下の通りです。

フェーズ	提出先	提出書類名	ファイル形式	提出方法	提出期限
省エネ診断完了報告	SII	省エネ診断完了報告書	原本	郵送	毎月15日の17時まで(必着) ※
		別紙省エネ診断実績の内訳			

※ 省エネ診断完了報告書の期限は以下の通りとします。

- 1回目：平成30年11月15日（木）
- 2回目：平成30年12月14日（金）
- 3回目：平成31年 1月15日（火）
- 4回目：平成31年 2月14日（木）

次ページ以降、記入例を記載します。

フォーマット

省エネ診断実施機関向けWEB(https://sii.or.jp/kakumeisokushin29r/information_ins.html)より必要書類をダウンロードのうえ、ご使用ください。

省エネ診断の実施に係る資料

 [省エネ診断事務取扱説明書 \(1.0MB\)](#)

※画像はイメージです。

 [省エネ診断実施計画書／診断費用計算書 \(165KB\)](#)

 [証憑書類台紙 \(91KB\)](#)

 [省エネ診断完了報告書 \(100KB\)](#)

留意事項

毎月15日の時点で請求の対象となる実績報告書を用意してください。なお、以下の条件に該当するものは除いてください。

- ①前月までに請求済みのもの
- ②SIIから修正依頼があり、15日までに修正が完了していないもの
- ③省エネ診断実績報告を未提出のもの

4-1 記入例

SIIから契約書を返送した際に案内済の
省エネ診断実施機関コードを記入

SS1080

平成30年11月14日

一般社団法人 環境共創イニシアチブ
代表理事 赤池 学 殿

本社住所
会社名
代表者等名を記入

住 所 ○○○県○○市○○一丁目○番○号

会 社 名 ○○○○株式会社

代表者等名 代表取締役 ○○ ○○



平成29年度 省エネルギー設備の導入・運用改善による中小企業等の生産性革命促進事業
省エネ診断 完了報告書

業務委託契約書第8条に基づき、省エネ診断実施実績について、以下に記載する
別紙のとおり報告します。

内訳の通数を記入

(別紙) 省エネ診断実績の内訳

1通

4-1 記入例

(別紙)省エネ診断実績の内訳

省エネ診断実績件数の合計を記入

SS1080

合計件数	4	件
------	---	---

省エネ診断実績

No	申請書番号	補助事業者名	診断訪問日	備考
1	KS-00000000000000	株式会社〇〇	平成30年9月15日	
2	KS-00000000000001	株式会社△△	平成30年10月12日	
3	KS-00000000000002	株式会社〇〇	平成30年10月20日	
4	KS-00000000000004	△△株式会社	平成30年10月25日	
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				
25				

1診断に対して1行で記入

26件以上の診断実績がある場合は
次ページに記入



4-2 精算払請求書

精算払請求書

省エネ診断実施後に省エネ診断実施に掛かった診断費用等の経費を請求するためのフォーマットについて記載しています。提出書類について以下の通り記載します。

フェーズ	提出先	提出書類名	ファイル形式	提出方法	提出期限
精算	SII	精算払請求書	原本	郵送	毎月15日の17時まで(必着) ※
		別紙精算払請求明細書			

※ 省エネ診断完了報告書の期限は以下の通りとします。

- 1回目：平成30年11月15日（木）
- 2回目：平成30年12月14日（金）
- 3回目：平成31年 1月15日（火）
- 4回目：平成31年 2月14日（木）

次ページ以降、記入例を記載します。

フォーマット

省エネ診断実施機関向けWEB(https://sii.or.jp/kakumeisokushin29r/information_ins.html)より必要書類をダウンロードのうえ、ご使用ください。

省エネ診断の実施に係る資料

※画像はイメージです。

-  省エネ診断事務取扱説明書 (1.0MB)
-  省エネ診断実施計画書／診断費用計算書 (165KB)
-  証憑書類台紙 (91KB)
-  精算払請求書 (80KB)

留意事項

毎月15日の時点で請求の対象となる実績報告書を用意してください。なお、以下の条件に該当するものは除いてください。

- ①前月までに請求済みのもの
- ②SIIから修正依頼があり、15日までに修正が完了していないもの
- ③省エネ診断実績報告を未提出のもの

4-2 記入例

SIIから契約書を返送した際に案内済の
省エネ診断実施機関コードを記入

SS1080

平成30年11月14日

一般社団法人 環境共創イニシアチブ
代表理事 赤池 学 殿

本社住所
会社名
代表者等名を記入

住 所 ○○○県○○市○○一丁目○番○号

会 社 名 ○○○○株式会社

代 表 者 等 名 代表取締役 ○○ ○○



平成29年度 省エネルギー設備の導入・運用改善による中小企業等の生産性革命促進事業
省エネ診断 精算払請求書

業務委託契約書第6条に基づき、省エネ診断費用及び旅費等について、以下に記載する
別紙のとおり請求します。

明細書の通数を記入

(別紙) 精算払請求明細書

1通

4-2 記入例

(別紙) 精算払請求明細書

受取口座申請書に記載した口座情報を記入

SS1080

振込先

銀行名	〇〇銀行
支店名	〇〇支店
預金種別	〇〇〇預金
口座番号	〇〇〇〇〇〇〇
口座名義	〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇
口座名義フリガナ	〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇

※受取口座申請書に記載した口座情報からの変更：

有(証憑書類は別添) 無

1. 精算払請求金額

¥2,250,000

有無にチェックを記入
※変更がある場合は、変更後の受取口座申請書を別添

金額は診断費用計算書の合計金額と一致すること

2. 請求明細

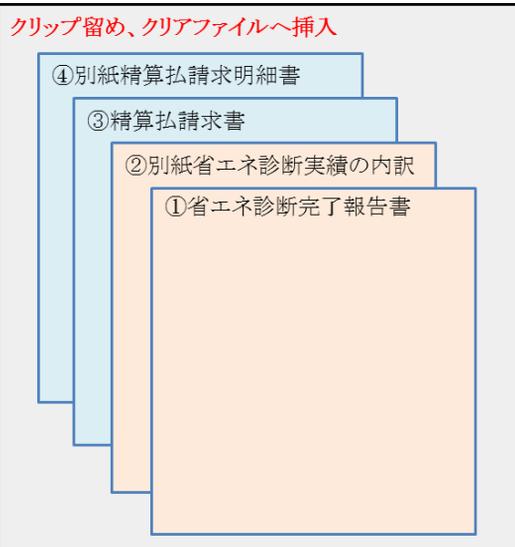
No	申請書番号	補助事業者名	診断訪問日	金額	備考
1	KS-00000000000000	株式会社〇〇	平成30年9月15日	¥750,000	
2	KS-00000000000001	△△株式会社	平成30年10月12日	¥500,000	
3	KS-00000000000003	〇〇株式会社	平成30年10月20日	¥380,000	
4	補助事業者の申請書番号KS-から始まる13ケタの数字を記入	補助事業者名を記入	平成30年10月25日	¥620,000	
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					
小計①				¥2,250,000	

21件以上の診断費用の請求を行う場合は次ページに記入

4-3 書類の提出／提出先

書類の提出

作成した省エネ診断完了報告書と精算払請求書を以下の構成でまとめて提出してください。



提出書類準備の注意

※省エネ診断完了報告書が表面に来るよう作成してください。
※書類はA4用紙で印刷し作成してください。

提出先

郵送先は以下の通りです。また、提出書類は配送事故に備え、**配送状況が確認できる手段(簡易書留等)**で郵送してください。メール提出、直接持ち込みは認めません。

〒104-0061
東京都中央区銀座2-16-7 恒産第3ビル6階

一般社団法人 環境共創イニシアチブ
審査第一グループ 省エネ診断担当 宛

省エネ診断精算書類 在中

本書に関するお問い合わせ先

一般社団法人環境共創イニシアチブ(SII)
省エネ診断担当

TEL:03-5565-3913

E-MAIL: shoene-shindan@sii.or.jp

受付時間 10:00~12:00、13:00~17:00(土曜、日曜、祝日を除く)

ホームページ: <https://sii.or.jp/>